

学校だより しゅんりん

令和2年5月11日(月)
第2号

相模丘中学校

『 栄冠は君に輝く 』

校長 水野澄雄

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校は5月31日(日)まで延長されました。3ヶ月にわたり生徒の皆さんと会えないことは、元気に明るく過ごしてくれていることを期待しつつも、不安で心配な気持ちになります。不要不急の外出をせず、3密を避けた予防に徹して、健康の保持増進を図ってください。

さて、表題の「栄冠は君に輝く」は、全国高等学校野球(甲子園)大会の歌です。作曲は、現在NHKの連続テレビ小説「エール」の主人公、古関裕而さんです。今回話題にあげるのは、作曲家の古関さんではなく、この歌の作詞をした加賀大介さんです。

加賀さんは、石川県在住のプロの文筆家でした。当時、甲子園大会30回を記念して、大会歌として全国から作詞の応募をしました。そこで選出されたのが、この「栄冠は君に輝く」でした。

しかし、当初の作詞者は、高橋道子さんとされていました。作詞をしたのは加賀さんでしたが、プロの文筆家が、懸賞金めあてで応募したと思われたくはなく(大賞賞金は5万円で、当時の公務員給与の10倍以上であったようです)、婚約者(後に妻)であった高橋さんの名前を借りてゴーストライターとなっていたようです。甲子園大会50回大会を機に加賀さん本人が作詞の真相を語り、「加賀大介作詞」とあらためられました。

加賀さんは、野球球児であったようですが、試合中のケガによる髄膜炎のため右足切断を余儀なくされ、野球を断念した経緯がありました。三番の歌詞「美しく匂える健康」には、まさに加賀さんの野球に対する熱い思いが強く込められているものと感じます。石川県のスーパースターといえば、ジャイアンツ、ヤンキースで活躍したプロ野球選手「松井秀喜」です。この松井選手の出身小学校の校長先生は、加賀大介さんと高橋(旧姓)道子さんの長女だそうです。不思議なつながりを感じます。

全国中学校体育大会の中止が決定されました。部活動に燃え、心身共に鍛えていた皆さんにとって、大きな目標が消え去り、ショックが大きいことと推察します。なにより、部活動ができない生徒の皆さんの状況を歯がゆく思います。加賀さんだったらこの状況をどう感じるのでしょうか。

中学生時代の皆さんに育んでほしいことは、「知・徳・体」のバランスのとれた学びです。今やインターネットも普及し、調べたいことはどんどん深く知ることができ、情報が膨らみます。そんな中で、自分の考えを整理してまとめるとともに、家族の方と意見交換をして、自分の学びを深めてください。そんなことができるチャンスです。近くで応援し、声をかけることはできませんが、限りない可能性と大きな成長を期待して「エール」を送ります。

栄冠は君に輝く - 合唱

作詞：加賀大介 作曲：古関裕而

雲はわき 光あふれて
天たかく 純白の球きょうぞ飛ぶ
若人よ いざ
まなじりは 歎呼にこたえ
いさぎよし ほほえむ希望
ああ 栄冠は 君に輝く

風をうち 大地をけりて
悔ゆるなき 白熱の力ぞ技ぞ
若人よ いざ
一球に 一打にかけて
青春の 讃歌をつづれ
ああ 栄冠は 君に輝く

空をきる 球のいのちに
かようもの 美しくおえる健康
若人よ いざ
みどり濃き しゆるの葉かざす 感激を まぶたにえがけ
ああ 栄冠は 君に輝く

《令和2年度入学式・始業式》

4月6日（月）令和2年度入学式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新入生、教職員のみの実施としました。新入生の皆さんの緊張した表情の中に、中学校生活への意欲が伝わる式となりました。

また、2、3年生の始業式は放送で実施しました。放送を聞く姿勢からは、新たな学年での決意を感じました。



《課題受け渡し日》

4月20日（月）は入学式、始業式以来の課題受け渡し日となりました。短い時間の中で、新しい担任の先生と、休校中の生活や今後について話をしました。久しぶりに学校に活気が戻り、早く今までの日常が戻ってきてほしいと感じられる1日となりました。配布された課題や、ライズeライブラリを家庭での学習活動にご活用ください。ライズeライブラリの利用方法は学校ホームページをご覧ください。



《保護者の皆様へ》

- 現在の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、毎日の健康観察をお願いします。「健康観察票」を課題受け渡し日に配布しています。ご記入をよろしくお願いいたします。
- 休校に伴い、年度当初の予定は大きく変更されることが考えられます。決まり次第、学校ホームページやグループメールで発信します。ご確認よろしくお願いいたします。